

## 5. 紅葉

秋になると、木の葉が緑から紅や黄に変わって、野山を美しくいろどる。葉の色が、このように変わることを、紅葉という。

紅葉は、秋だけでなく、春になって木の芽がのび、新しい葉が開いたばかりの時も紅葉するのです。ですから、紅葉は、春と秋二回起こるのです。

### ●黄色く紅葉するもの

イチョウ・カツラ・イタヤカエデなど。

### ●紅色く紅葉するもの

カキ・ツタ・ヌルデ・カエデ・ニシキギ・ウルシ・ドウダンツツジなど。



### 【ヌルデ】（ウルシ科）

山や野に多い落葉小木で、紅葉がたいへん美しい。ほかの木よりもはやく色づき秋を知らせてくれる。

### 【観音沼の紅葉】

観音沼森林公園の紅葉は、自然林と人工植栽の<sup>かんぼく</sup>灌木の紅葉で他では見れない美しさである。

森林と沼の水の色とが何ともいえない美しさを出す。



山々と沼と樹々の色合いが美しい。10月なかばころから紅葉がはじまる。

山と沼と浮き島と樹々の美しさは、何ともいえない。